

中山みずほ 区政レポート

2023年5月より2期目

福祉保健常任委員会 副委員長

DX・地域行政・公共施設整備等推進特別委員

世田谷区都市計画審議会委員

お困りごと、ご意見など
お気軽にお寄せください!

深沢在住。
会社員夫と
中3息子の
3人家族。

世田谷区議会議員

中山 みずほ

頑張るあなたを
独りにしない。

〒154-0015 世田谷区桜新町1-25-25
電話:080-4634-2547
Eメール:info@nakayamamizuho.net



公式ラインからもご相談できます!▶

2期目・中山みずほ宣言!

女性の、女性による、女性のための政治

「女性が幸せな世界こそ、すべての人々が幸せな社会を生む!」
多くの女性の声を聞いてきた中山みずほの、今期の最優先事項です。

実現
しました!

要望してきたジェンダー統計実施が前進!

本年2月の一般質問で「ジェンダー統計」の必要性を訴えましたが、区は今年度「特別区長会調査研究機構」の調査研究にて、まずは、あまり可視化されてこなかった若年女性の実態調

査を進めています。非正規雇用などの労働問題をはじめ、女性が抱える潜在的な困難を把握し、支援を講じることを求めています。



DV相談、適切な支援につなぎたい

世田谷区でもDV相談件数は増えており、私の元には「精神的DV」のご相談が継続的に入っています。一方、「自分さえ我慢すればいい」などと考えて、暴力を受けた約4割の女性が誰にも相談していないという内閣府

の調査もあります。身体的暴力と違い、周囲も本人も気づきづらく一人でつらい思いを長いこと抱えている方もいらっしゃる。DVの被害の深刻化を防ぐためには、早期の対応が大切。ぜひ、相談してください。

おススメ本



7つのワークで「自分らしさ」を取り戻すモラハラ夫の精神的支配から抜け出す方法

ああ、
打開したい!!

ジェンダーギャップ指数125位の日本が浮き彫りに

写真は6月に日光で開催されたG7ジェンダー平等・女性のエンパワーメント閣僚会合での集合写真。TIME誌はこんな皮肉なタイトルをつけました。「日本、女性のエンパワーメントに関するG7会議の議長に男性大臣を送り込む」。また、同時に開催された国内の女性首長らが集

まる会議を中山はオンラインで視聴。小池都知事の「世界がF1のようなスピードで進む中、日本は匍匐(ほふく)前進」という言葉に大きくうなずいてしまいました。中山はこれまで、区役所における女性管理職30%以上!と訴えてきましたが、引き続き、求めて参ります。



【写真出典】内閣府男女共同参画局HPより

?



相談者

おひとりさま
77歳・女性

「私が死んだらどうなるの?」

福祉保健の副委員長になった中山に、早速お電話が。「私のようなおひとりさま高齢者にとって、心配事は死んだあとのこと。預金口座管理、病院や施設への入所(家族の身元保証を求められる)等どうしたらよいのか」と。

- 5/24、岸田首相は「厚労省を中心に身元保証等のサポート事業等について対策を講じたい」と明言。
- 「身元保証等高齢者サポート」をうたう民間事業者も増えたが、最低限のガイドラインもない状況。

世田谷区の高齢福祉課に問い合わせると、成年後見人制度だけでは足りないことを認識しており、区でも大きな課題であることがわかりました。

区の状況を女性にお伝えすると、「ありがとう。ぜひ世田谷らしく制度化してくださいね」とのお返事が。単身世帯が急増する中、認知症サポートや生活困窮者への福祉としてだけではなく、行政がある程度、生前から関わっていく仕組みが必要と考えます。

庁舎建て替えの工期問題

庁舎建替、約2年の工期延長!

世田谷区の実損は計り知れないものに。

「世田谷区庁舎は、サグラダ・ファミリアになるのか?」そんなあきれた声が、私が所属する「DX・地域行政・公共施設整備等推進特別委員会」でつぶやかれ始めています。

本来は、今年7月に完了予定だった第1期工事。ところが、施行者である大成建設からは、昨年12月に「完了が2カ月遅れる」との報告が。さらに、今年5月には「やっぱり6カ月遅れる」との訂正が。

その上、7月には、2期で6.5カ月、3期で8カ月の工期延長が避けられないとの報告があったのです。トータルで約2年の延長!これは極めて受け入れ難いことです。

6月21日の臨時委員会では、大成建設側の責任者4名の参考人招致が行われ、7月28日にも臨時委員会。私は専門家や区民の方々の声を丹念に聞いた上で、徹底的に質疑を行いました。

また、工期延伸による区の実損分はいかほどなのか? 大成建設はその実損分をどうしてくれるのか? 私は委員会でもその点を確認し、契約約款に定める損害賠償や違約金のみならず、さらなる賠償のあり方も検討すべきと要求しています。

今後の経緯は「中山みずほ区政報告会」などでお伝えしたいと考えています。

経緯の詳細は区のホームページを▶



**中山みずほの
議会質問**

中山みずほの過去の質問は動画でご覧いただけます▶

令和5年第2回定例会(2023年6月15日)
本会議 一般質問

- サービスデザインによるDX推進手法について
- 住民視点からの官民連携について
- 小規模事業者を対象とした支援事業の継続性について
- 区の事業や施策に子どもの声を活かすことについて

詳細は
右記事へ!

令和5年予算特別委員会(2023年3月17日)
文教委員会所管質疑

- 区立幼稚園集約化の見直しについて
- 教員による不適切な行為が発覚した場合の対応について
- 学校現場の人への投資について

令和5年予算特別委員会(2023年3月15日)
都市整備委員会所管質疑

- 上野公園拡張事業における意見聴取のあり方について
- 公園禁止看板問題の進捗状況について
- 喜多見農業公園の余剰収穫物の福祉的利用について

詳細は
右記事へ!

令和5年予算特別委員会(2023年3月8日)
企画総務委員会所管質疑

- 「民間活用」のあり方について
- DXの観点からの広報、意見聴取について
 - 世田谷区公式LINEについて
 - 市民参加型合意形成プラットフォームDecidimについて

令和5年第1回定例会(2023年2月21日)
本会議 一般質問

- 「困難女性支援法」成立に伴う今後の区の女性支援施策について
- 区立幼稚園集約化による子どもへの影響について
- 子ども・子育て支援の充実について
- 学びの質の転換に向けた区の教育政策のあり方について

中山みずほプロフィール

- 世田谷在住20年。家族は夫と息子
- '89都立大泉高校・'06産能短大卒
- リクルート、ホテル日航東京など会社歴20年
- 東日本大震災を機にNPOや地域活動に専念
- 保坂展人政治スクール第1期生・日本政策学校第7期生
- 2019年区議初当選
- 立憲民主党女性議員ネットワーク事務局次長('20~'21)
- 2023年区議2期目当選
- 立憲民主党・れいわ新選組世田谷区議団

【特技】自転車こぎ、大人のぬいえ、お弁当を美しく詰めること

施設の母との再会に涙ぐみつつ「ご飯もおやつも残さず食べて、肌も綺麗だと褒められるのよ」と自慢されました!

中3息子のサッカー引退試合で胸キュン。夏からは高校受験ヘンフトです!

まちづくりは福祉とつながる

共有資源“コモンズ”を考える

区が所有する「区有地」の中で、使われていない土地を活用する取り組みが始まっています。駐車場にして税外収入を得るという考えもありますが、中山は「住民に開放することで地域コミュニティづくりに役立てられる!」と議会で訴えてきました。それは「人と人との結びつき(社会関係資本)」を豊かにします。ここでは、区有地から生まれたコミュニティの声を紹介します。

voice 1

回覧板がきっかけ。
手が届く距離に、社会と
繋がれる場所があった

城田晃希さん
(タマリバタケ@上野毛)

美大を卒業し、文化財保護の仕事をしていた城田さん。原因不明の疾患で引きこもりの状態が続いていたところ、町会の回覧板でコミュニティ農園のことを知ります。その名も「溜まり場」と「畑」で「タマリバタケ」。通い初めて1年半、地域との関わりが大きく変わりました。「農業体験もほぼ初めてでしたが、自然の循環は人の繋がりや営みと共通点があり、人のいる環境も土壤なんだ!と思いました。」活動レポートのイラストを描き始めた城田さんは、現在コミュニティ・アーティストとして活動の場を広げています。「誰かの役に立ちたい、この思いをタマリバタケが育ててくれました」

公園は、
だれのもの?

子どもの声を、本気できこう!

「公園は、だれのもの?」にあえて答えるならば、子どもにとってなくてはならない、人間形成の土台となる場所と考えます。2023年6月にも、子どもの声を聞くタイミングや手法について質問。すでに小中学生はiPadを自在に使いこなします。デジタルを活用し、子どもが意見表明できるよう要望しています。

voice 4

いまこそ
子どもの遊びを
社会が保障しなくちゃ!



神林俊一さん 嶋村仁志さん
(TOKYO PLAY)

2023年3月に緊急政策提言「遊びのマニフェスト」をリリースしたTOKYO PLAY。中山は世田谷区長との懇談をアレンジしました。「子どもにとって遊ぶことは本能であり人間形成の土台ですが、遊ぶ『時間・空間・仲間(3つの間)』が激減する今、子どもの心身への影響が広範囲で出ていることは大きな問題」と嶋村代表。ウェルズ(イギリス)が2010年に「大人には子どもが遊ぶ環境を向上させる義務がある」と法律化した話に、保坂区長も耳を傾けました。

◀遊びのマニフェスト動画はこちらから▶

区有地の

空き地は、
だれのもの?

voice 2

みどりと花を愛し、コモンの
可能性を地元で実証中!

大坪義明さん
(グリーンソサエティ@烏山)

南烏山で地域に開かれたコミュニティガーデンを運営し、秋には区内各地で「世田谷落ち葉ひろいりレー」を区と協働で開催する世田谷みどり33協働会議事務局の大坪さん。「区が保有する自然資産を市民に開放することは、住民自治の成熟を促す」…この考えに共感する中山は、プレイスメイキング(=公共の場づくり)は大事な行政の取組み、との区の答弁を引き出しました。

美しく自然と
共存するまちづくりを

voice 3

スチュワートシコさん
(玉川にエコタウンをつくる会@二子玉川)

きっかけは二子玉川の再開発。玉川地域のグリーンマップの作成や、土手の桜の診断をしたりと、二子玉川の緑地保全を陰で支えてきたスチュワートさん。ささやかな区有地は丁寧に手入れされ、美しい小道に。「今後は若い仲間を増やし、一緒に未来を考え、緑あふれる豊かなまちづくりをしていきたいです」



voice 5

ぼくらの考えも
聞いてください!

こどもたち

(team世田谷区公園の看板に子ども目線を!)

実現しました! 公園の看板表示ガイドラインができました!

子どもたちとともに公園の禁止看板アンケート結果を保坂区長に届けたのは2021年12月。その後も議会で質疑を重ね、2023年4月にガイドラインが完成! 奇しくも同時期に子ども基本法が施行され、子ども家庭庁が発足しました。中山は「こどもまんなか社会」のためにこれからも尽力いたします。

公園における看板標示ガイドライン▶

世田谷区基本計画案

「子ども・若者は、地域と一緒につくっていく主体として明確に位置づけ、自分たち自身が社会の真ん中にいると実感できるようにする」

